基礎看護学方法論Ⅰ　　　最終回

学習の視点を黒字
具体的学習内容を青字で示しています。

学習視点と内容をもとに、ノートまとめをしましょう。

<2月14日　HR内提出課題>
□　「ノートまとめ」も含めた「水巻さんファイル」
□　実施、評価のワークシート

□　看護過程とは

看護を具体的に実践するための方法論の1つ

→　対象者にとって必要な援助を見極め、提供するための手段・方法

※　看護師にとっての利点と患者にとっての利点

□　看護過程を構成する5つの要素

アセスメント	看護問題の明確化	計画	実施	評価
情報収集	看護診断の確定	看護目標設定	計画に基づく実施	
情報の整理	問題の優先順位	具体策立案		
情報の分析				

スクリーニングアセスメント　　フォーカスアセスメント

★　この5つの構成要素は連続的、循環的なプロセスである

看護過程の基盤となる考え方

□　問題解決過程

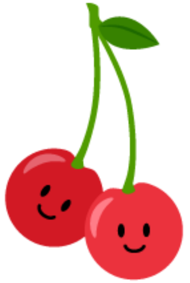
□　クリティカルシンキング

□　リフレクション

看護過程の各段階

アセスメント

□　情報の種類、関係性
□　アセスメントの枠組み
□　情報収集の手段
□　情報の分析(情報の意味を考えること)　原因　成り行き
□　情報分析のために必要な力(教科書P249～)
□　関連図とは



看護問題の明確化

□　看護診断とは　定義　関連因子　危険因子　診断指標
□　看護問題の種類　実在型(問題焦点型)
　　　　　　　　　リスク型　ヘルスプロモーション型
□　共同問題　RC　CP
□　看護問題の表記方法
　　ND:関連因子または危険因子に関連した○○
□　情報の分析ー看護診断の確定:整合性
□　看護問題の優先順位

看護計画

- □　看護目標　長期目標(L)　短期目標(SG)
- □　看護目標表記における注意点
- □　看護計画の分類
- □　クリティカルパスとは

実施

□　実施のながれ

□　実施と記録(SOAP記録、フォーカスチャーティング、経過表)

叙述的

□　看護記録の構成：

基礎情報、看護計画、経過記録、看護サマリー

評価

□　評価とは

□　評価を行う時期

□　評価の進め方

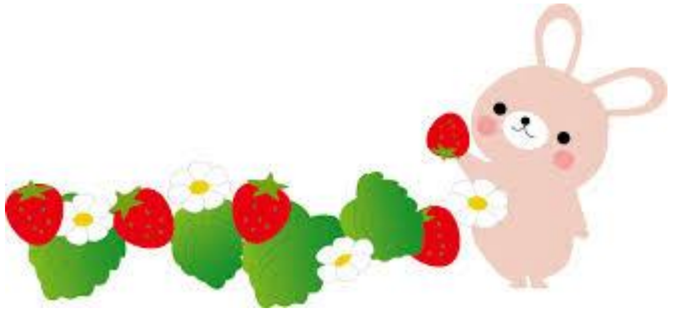
□　目標の評価の判定

看護記録とは

□　看護記録の法的位置づけ

□　看護記録の目的と機能

□　記載における留意点



倫理的配慮と価値判断

- ☐ 医療・看護における倫理原則

- ☐ なぜ倫理が大切なのか